

インフルエンザ(2026 年第 40 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 40 週の定点当たり報告数は 11.35(患者報告数 42,320)となり、前週の定点当たり報告数 7.17 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(37.07)、埼玉県(19.66)、千葉県(18.72)、神奈川県(18.51)、東京都(15.87)、茨城県(13.60)、長崎県(12.84)、愛知県(11.88)、石川県(11.74)、静岡県(11.69)、群馬県(11.13)、鹿児島県(10.58)、徳島県(10.27)、熊本県(10.20)、栃木県(10.07)、新潟県(10.05)の順となった。全国 47 都道府県中、44 都道府県では前週の報告数よりも増加し、3 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 999 例であり、前週(861 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(24 例)、1～4 歳(122 例)、5～9 歳(138 例)、10 代(70 例)、20 代(12 例)、30 代(13 例)、40 代(14 例)、50 代(41 例)、60 代(78 例)、70 代(167 例)、80 歳以上(320 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 36 週～2026 年第 40 週)では、AH1pdm09 が 160 件(99%)、AH3 亜型が 1 件(1%)、B 型が 1 例(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。